

今日のシライ中

SCIENCE ROOM 4 白井中学校理科室から

白井中生が考える SDGs ! 第2弾

SDGs は、地球規模で考えるとどれも壮大な目標です。その中で、自分にできることは何かを考え、一人ひとりが小さな変化を起こしていくことが大切です。今回は、目標8、12、13について何ができるのか考えてくれた3年生の意見を紹介します。

8 働きがいも 経済成長も



目標が達成されていると考えられている2030年。そのときに私たちは社会人になっています。そう考えると、すごく身近なものなのだと思います。だからこそ私たちができることも多いのではないのでしょうか。私はやりがいのある仕事に就きたいですし、給料だって自分や家族が生活できるくらいももらいたいです。それはこの世界の誰しもが思っていることだと思います。まだ募金とはできませんが、フェアトレード商品を買うなど、自分にできることをしたいです。一人ひとりがちょっとずつでも何かすることで、目標が達成できるのではないかと思います。

12 つくる責任 つかう責任



一人あたりの捨てる食べ物の量を世界全体で半分にするには、みんなで協力すればできることです。また、3R(リデュース：ゴミを減らすこと。リユース：一度使って捨てるのではなく何回か使うこと。リサイクル：もう一度資源に生まれ変わらせること。)も大切です。貴重な金属が使われている携帯電話は、リサイクルすることが重要だと思います。掘り出すのが大変な金属を無駄にせず済むし、自然から取り出すばかりだと、いつかなくなってしまう。水や食べ物、木、エネルギーといった資源を無駄にしないようにしたいです。全世界の人が、このSDGsのことをよく理解し、みんなで協力し、ちょっとずつ変えていきたいです。

13 気候変動に 具体的な対策を



環境問題の目標が達成される日が来るとは思えない。なぜなら、もう失われ、取り戻すことのできないことがあるからだ。しかし、今より多くのものが失われないように、維持することが大切だと思う。今年、コロナウイルスが感染拡大したことで、大気汚染が改善されているというニュースを見たことがある。今までは、空気が濁り遠くまで見ることができなかつたヒラヤマ山脈が200kmも離れたインド北部から見ることもできた。また、アメリカではPM2.5が40%現象するなど、生物が生きやすい環境に変化しつつある。つまり、私たちが移動するのに発生していたCO₂、工場を稼働し生じていたCO₂がどれだけ多かったのかははっきりわかる結果となった。現状を続けることは不可能であるが、これを少しでも維持できたら良いと思う。そのために、公共交通機関を利用する、省エネ家電を使用するなど、小さなことでも取り組むことが大切である。そして、「CO₂排出量<森林などが吸収できる量」になることを目指したい。